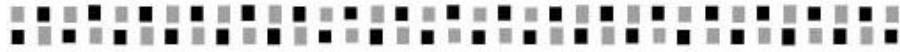




# 藤本 みのる 通信

Vol 341

2020年3月24日発行



大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

## 大月駅南北自由通路について

南北自由通路は大月市財政の手に余る可能性が高いと考え、私は、新年度予算に計上された「基本調査設計予算」に反対しました。

平成 27 年にさかのぼりますが、市長選の候補者討論会で、両候補者が大月駅北側大規模空地を生かすため、市道大月賑岡線の拡幅を訴え、聴衆も全員が手渡されたカードを○にして賛成の意思表示をしました。ですから、市道大月賑岡線の拡幅は、市長選の公約実現にむけた、市民も認めたことです。市道の拡幅は、普通であれば国の補助金は受けられません。そこで大月市は、市の負担を減らすため、市道大月賑岡線の拡幅を立地適正化計画に位置付けて申請し、45%の国の補助を受ける準備を進めてきました。

『JR 中央線大月駅自由通路及び駅周辺整備基礎調査業務委託業務報告書』（平成 31 年 3 月）には自由通路の想定される整備パターンとして 7 案が示され、類似事例が紹介されました。私は類似例から考え、「時期尚早」と判断しました。

- ・市道大月賑岡線拡幅（15.5 億円）
- ・大月駅南北自由通路（類似例 20～35 億円）
- ・北側駅前広場整備（1 億円）

市負担の上限を 15.5 億円とすれば、総事業費は 28 億円、南北自由通路は 11.5 億円以内で整備するのが大前提です。補助金目当てに総事業費を膨らませるのは話が違います。

### 平成 30 年 2 月

大月市立地適正化計画を庁議で決定

「大月駅周辺整備」

- ・市道大月賑岡線拡幅
- ・大月駅南北自由通路
- ・北側駅前広場整備

### 令和 2 年 3 月

基本調査設計予算

8328 万円計上

JR 東日本との基本調査設計協議開始

### 令和 2～3 年度中

南北自由通路整備方針決定、立地適正化計画の事業計画全体が確定後、国に申請・許認可

### 令和 4 年度～

市道大月賑岡線拡幅のための用地買収、補償手続き開始

## 【藤本みのる活動日誌】

- 3月13日(金) 東部猟友会大月支部総会
- 3月16日(月) 市議会一般質問
- 3月19日(木) 市議会本会議、採決・閉会
- 3月23日(日) トウモロコシ用マルチ準備(畑)